

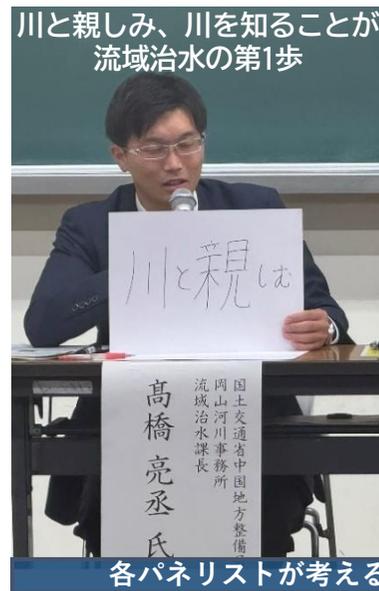
# 「平成30年豪雨とその復旧・復興」シンポジウムに登壇しました。



- 11月16日(土)に岡山大学で『第70回土木計画学研究発表会・秋大会(主催:土木学会土木計画学研究委員会)』が開催され、「平成30年豪雨とその復旧・復興」シンポジウムにて、国、県、市の担当者、そして実際の被災者の方による講演とパネルディスカッションが行われました。
- パネルディスカッションでは、各パネリストが考える真備の教訓を日本国全体の防災力向上に活かすための横展開と、防災力向上に向けてこれから重点的に取り組む課題のキーワードを示し、取組内容を紹介しました。

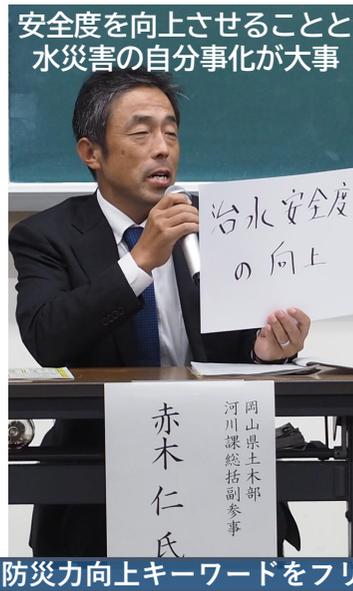


岡山河川事務所からは、真備緊急治水対策プロジェクトでの実施内容を説明。



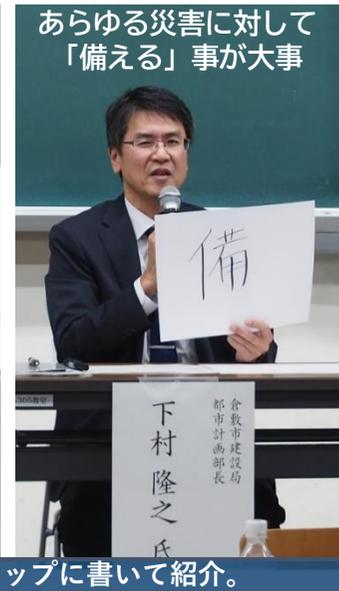
川と親しみ、川を知ることが流域治水の第1歩

高橋 亮丞氏  
国土交通省中国地方整備局  
岡山河川事務所  
流域治水課長



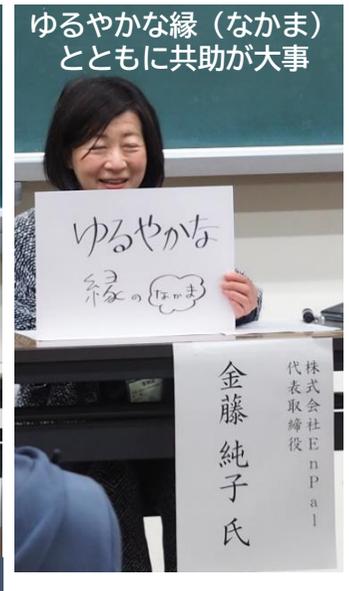
安全度を向上させることと水災害の自分事化が大事

赤木 仁氏  
岡山県土木部  
河川課総括副参事



あらゆる災害に対して「備える」事が大事

下村 隆之氏  
倉敷市建設局  
都市計画部長



ゆるやかな縁(な)かまとともに共助が大事

金藤 純子氏  
株式会社Enpa  
代表取締役

各パネリストが考える防災力向上キーワードをフリップに書いて紹介。